

第三期特定健康診査等実施計画

ワイジェイカード健康保険組合

最終更新日：令和2年12月17日

特定健康診査等実施計画（平成30年度～令和5年度）

背景・現状・基本的な考え方		
No.1	<p>組合全体の医療費を傷病別にみると「新生物」が最も高く、次いで「循環器系疾患」が多い。本人では、「新生物」「感染症・寄生虫症」「皮膚・皮下組織疾患」の順で医療費が高い。家族では、「呼吸器系疾患」「循環器系疾患」「新生物」の順で医療費が高い。</p> <p>悪性新生物をみると本人家族ともに消化器の悪性新生物と女性特有の悪性新生物（乳房、女性生殖器）の医療費が高くなっている。</p> <p>循環器系疾患をみると、本人では「高血圧性疾患」の医療費が高くなっている。家族では「脳血管疾患」の医療費が高く、年々増加傾向となっている。</p>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社が行う定期健康診断は、従前より検査項目が充実しており、当組合は特定健診項目費用とがん検診費用を負担している。健診体制はできてしていると判断している。 ・「新生物」に関しては早期発見・早期治療。「高脂血症」「高血圧」「糖尿病」の早期治療を推進。
No.2	<p>生活習慣病をみると、本人家族ともに「高血圧性疾患」の医療費が最も高く、本人においては増加傾向にある。</p>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の受診勧奨基準値以上や基準値を超えながら受診した形跡のない者などへの対応については、健保組合・事業主ともに医療専門職がいない中で受診勧奨は難しい。法定の保健指導対象外の者への指導はできていない。今後保健師など医療専門職の短期派遣による指導の機会を設けるなどの対応を進める。
No.3	<p>メンタル系疾患の有病者をみると、本人家族ともに神経症・ストレス障害、気分〔感情〕障害が多い。本人については有病者数が増加傾向にある。メンタル系疾患の医療費をみると、本人家族ともに気分〔感情〕障害の医療費が突出して高いが、減少傾向にある。</p>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球観戦や宿泊施設の利用補助、リゾート利用券の補助などを行い、リフレッシュの機会を設けることで、メンタルケアを行っていく。
No.4	<p>本人で運動習慣がある方の割合が少なく（18%）、20歳以上からの体重変化があった方の割合が高い（39%）。</p> <p>本人については、喫煙習慣や飲酒習慣がある方も多く体重変化に影響を与えていると考えられる。</p>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育奨励を行うことで、運動習慣の定着を目指す。また、禁煙活動について補助を実施することで禁煙しやすい体制を整備する。

基本的な考え方（任意）
<p>1. 特定健康診査等の基本的な考え方</p> <p>日本内科学会等内科系8学会が共同でメタボリックシンドロームの疾患概念と診断基準を示した。これは、内臓脂肪型に起因する糖尿病、高脂血症、高血圧は予防可能であり、発症した後でも血糖、血圧をコントロールすることにより重症化を防止することが可能であるという考え方を基本としている。メタボリックシンドロームの概念を導入することにより、内臓脂肪の蓄積や、体重増加等が様々な疾患の原因になることをデータで示すことができるため、健診受診者にとって生活習慣の改善に向けての明確な動機付けができるようになる。</p> <p>2. 事業主が行う健康診断及び保健指導との関係</p> <p>事業主が行う被保険者の定期健康診断について、当健康保険組合は特定健診項目にあたるデータを事業主から受領する。</p> <p>3. 特定保健指導の基本的な考え方</p> <p>生活習慣病予備軍の保健指導の第一の目的は、生活習慣病に移行させないことである。そのための保健指導では、対象者自身が健診結果を理解して自らの生活習慣を変えることができるように支援することにある。</p>

特定健診・特定保健指導の事業計画

1 事業名	特定健診（被保険者）	対応する健康課題番号	No.2, No.1																																									
↓																																												
<p>事業の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>-</td> </tr> </table>		対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者	方法	-	体制	-	<p>事業目標</p> <p>被保険者の健康維持 生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトカム指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善率</td> <td>21.0%</td> <td>21.5%</td> <td>21.5%</td> <td>22.0%</td> <td>22.0%</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>98.5%</td> <td>98.5%</td> <td>98.5%</td> <td>98.5%</td> <td>98.5%</td> <td>98.5%</td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	アウトカム指標							改善率	21.0%	21.5%	21.5%	22.0%	22.0%	22.5%	アウトプット指標							受診率	98.5%	98.5%	98.5%	98.5%	98.5%	98.5%
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者																																											
方法	-																																											
体制	-																																											
評価指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																																						
アウトカム指標																																												
改善率	21.0%	21.5%	21.5%	22.0%	22.0%	22.5%																																						
アウトプット指標																																												
受診率	98.5%	98.5%	98.5%	98.5%	98.5%	98.5%																																						
<p>実施計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続して実施</td> <td>継続して実施</td> <td>継続して実施</td> </tr> <tr> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> <tr> <td>継続して実施</td> <td>継続して実施</td> <td>継続して実施</td> </tr> </tbody> </table>				H30年度	R1年度	R2年度	継続して実施	継続して実施	継続して実施	R3年度	R4年度	R5年度	継続して実施	継続して実施	継続して実施																													
H30年度	R1年度	R2年度																																										
継続して実施	継続して実施	継続して実施																																										
R3年度	R4年度	R5年度																																										
継続して実施	継続して実施	継続して実施																																										

2 事業名 特定健診（被扶養者）

対応する健康課題番号

No.1, No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者
方法	-
体制	-

事業目標

被扶養者の健康維持
生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防

評価指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
アウトカム指標						
改善率	19.0%	19.5%	19.5%	20.0%	20.0%	20.5%
アウトプット指標						
受診率	59.5%	59.5%	59.5%	60.0%	60.0%	60.0%

実施計画

H30年度	R1年度	R2年度
継続して実施	継続して実施	継続して実施
R3年度	R4年度	R5年度
継続して実施	継続して実施	継続して実施

3 事業名 特定保健指導

対応する健康課題番号

No.2, No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員
方法	-
体制	-

事業目標

加入者の健康維持
生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防

評価指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
アウトカム指標						
改善率	31.0%	33.0%	35.0%	37.0%	39.0%	40.0%
アウトプット指標						
実施率	83.0%	83.0%	83.0%	83.0%	83.0%	83.0%

実施計画

H30年度	R1年度	R2年度
継続して実施	継続して実施	継続して実施
R3年度	R4年度	R5年度
継続して実施	継続して実施	継続して実施

4 事業名 重症化予防

対応する健康課題番号

No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者
方法	-
体制	-

事業目標

服薬中の方に対しても保健指導を実施することで、重症化する方を減らしていく

評価指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
アウトカム指標						
特定保健指導のアウトカム指標と重複する為、ここでは設定しない (アウトカムは設定されていません)						
アウトプット指標						
受診者数	5人	10人	15人	20人	20人	20人

実施計画

H30年度	R1年度	R2年度
服薬中で保健指導の対象からはずれていた被保険者（特定健診対象前）を対象に保健指導を実施	継続して実施	継続して実施
R3年度	R4年度	R5年度
継続して実施	継続して実施	継続して実施

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	306 / 350 = 87.4 %	314 / 360 = 87.2 %	349 / 390 = 89.5 %	358 / 400 = 89.5 %	365 / 405 = 90.1 %	374 / 415 = 90.1 %
		被保険者	246 / 250 = 98.4 %	251 / 255 = 98.4 %	265 / 270 = 98.1 %	270 / 275 = 98.2 %	275 / 280 = 98.2 %	280 / 285 = 98.2 %
		被扶養者 ※3	60 / 100 = 60.0 %	63 / 105 = 60.0 %	84 / 120 = 70.0 %	88 / 125 = 70.4 %	90 / 125 = 72.0 %	94 / 130 = 72.3 %
	実績値 ※1	全体	317 / 364 = 87.1 %	339 / 383 = 88.5 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	251 / 259 = 96.9 %	257 / 263 = 97.7 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	66 / 105 = 62.9 %	82 / 120 = 68.3 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	51 / 61 = 83.6 %	51 / 61 = 83.6 %	52 / 63 = 82.5 %	53 / 64 = 82.8 %	54 / 65 = 83.1 %	55 / 66 = 83.3 %
		動機付け支援	26 / 31 = 83.9 %	26 / 31 = 83.9 %	26 / 32 = 81.3 %	27 / 32 = 84.4 %	27 / 32 = 84.4 %	28 / 33 = 84.8 %
		積極的支援	25 / 30 = 83.3 %	25 / 30 = 83.3 %	26 / 31 = 83.9 %	26 / 32 = 81.3 %	27 / 33 = 81.8 %	27 / 33 = 81.8 %
	実績値 ※2	全体	55 / 62 = 88.7 %	46 / 62 = 74.2 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	31 / 31 = 100.0 %	26 / 34 = 76.5 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	24 / 31 = 77.4 %	20 / 28 = 71.4 %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）

-

特定健康診査等の実施方法（任意）

-

個人情報の保護

当健康保険組合は、ワイジェイカード健康保険組合個人情報保護管理規程を遵守する。当健康保険組合及び委託された特定健康診査・特定保健指導実施機関は、業務によって知り得た情報を外部に漏らしてはならない。
当健康保険組合のデータ保護管理者は、常務理事とする。また、データの利用者は当健康保険組合職員及び母体企業の関係者に限る。外部委託する場合は、データ利用の範囲・利用者等を契約書に明記することとする。

特定健康診査等実施計画の公表・周知

本計画の周知は、ホームページに掲載することとする。新規の特定健康診査対象者に対しては、パンフレット等を送付し周知を図る。

その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）

当計画については、目標と大きくかけ離れた場合やその他必要がある場合には見直しを行うこととする。